

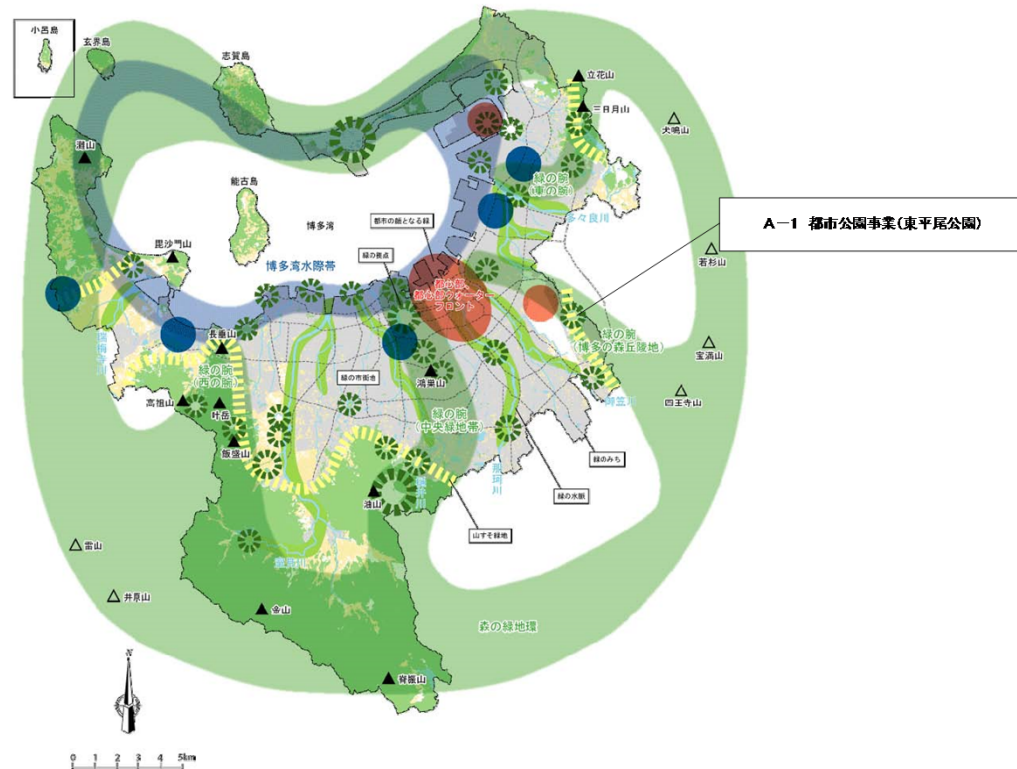
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	国家的事業関連公園の整備		
計画期間	平成28年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	1,784百万円	国費率	1/2

		要素事業名						
1)事業の実施状況	対象事業	A.基幹事業	○都市公園事業(東平尾公園)					
		B.関連社会資本整備事業	-					
		C.効果促進事業	-					
		その他関連する事業	-					
	進捗状況	A.基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(H26年度末時点)	次期計画		
			○都市公園事業(東平尾公園)	球技場施設改修, 陸上競技場施設改修	完了	-		
	B.関連社会資本整備事業							
	C.効果促進事業							
	その他関連する事業							
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H28年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因		
		スポーツ観戦の機会への評価	79%	81%	77% (H30年度末実績)	H24年度から指標値は上昇傾向にあったが、H28年度以降は高い値を維持している。要因としてプロスポーツの存在や、福岡で継続的に開催されている国際大会が影響していると考えられるが、H31年度以降はラグビーワールドカップなどが開催予定であるため、今回達成できていない目標値の達成が期待できる。		
		国際スポーツ大会、全国レベルの大会等の年間開催数	1回	3回	3回	国際スポーツ大会が開催可能な公園の整備を行い、ラグビーワールドカップ、日本陸上競技選手権大会、福岡国際女子テニスが開催予定であるため、目標値を達成することが出来た。		
		成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・都市公園事業について、大規模な運動公園を整備することで運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。					
	効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)							
3)その他	今後の方針	・今後も、国際スポーツ大会や全国レベルの大会が開催可能な公園施設の整備と指定管理者制度などの民間活力を生かしてより一層の利用者サービスの向上を目指していく						

「国家的事業関連公園の整備」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
令和元年度に日本で開催予定の「ラグビーワールドカップ2019」や令和2年度に開催予定のオリンピック・パラリンピック等の開催に向けて、国際大会開催が可能な施設に改修を行うことで、大会後も多くの外国人が訪れる国際的な大会を誘致し、魅力ある総合公園として外国人観光客の呼び込みを図る。	①スポーツ観戦の機会への評価	79%	81%	77% (H30年度未実績)
	②国際スポーツ大会、全国レベルの大会等の年間開催数	1回	3回	3回



主な事業効果

・都市公園事業については、ラグビーワールド杯などの国際大会誘致可能な総合公園の施設整備。